

杓形岬公園キャンプ場利用状況調査

西島 徹

〒097-0401 北海道利尻郡利尻町杓形字泉町110番地 泉団地56-4号

Use State Investigation of Kutsugata-misaki Park Campground

Toru NISHIJIMA

56-4, Izumi-danchi, 110, Izumi, Kutsugata, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0401 Japan

Abstract. The number of tents was counted from June 1st to August 31th between 2002 and 2006 at Kutsugata-misaki Park Campground. There is a similar tendency between the number of tents at Kutsugata, the whole numbers of visitors and climbers to Rishiri Island.

はじめに

利尻島は利尻礼文サロベツ国立公園に指定され、風光明媚な景勝地として古くから観光地としても有名であった。現在、島内には5か所のキャンプ場が整備され、近年ではオートキャンプ場も新設されている。これらのキャンプ場の中で杓形岬公園キャンプ場は利尻島西部の利尻町杓形岬公園内に位置する。開設された年代ははっきりとしないが、岬の海岸線を一周する車道が整備されたのが1960年であることからその前後ではないかと思われる。1998年に拡張工事が行われ、敷地面積約2,700㎡の草地でほぼ平坦なサイトには100張り(梅沢, 2001)のテントが設置可能となっている。キャンプ場内には駐車場2ヶ所、トイレ(身障者用含む)、炊事場、バーベキュー台、据付のテーブルとイス、休憩舎には洗濯機(有料)、乾燥機(有料)が設置されている。海岸線が近いので夏はコンブ漁やウニ漁、コンブ干しの様子を間近に見ることができる。利尻山の眺望もよく、開放感溢れるキャンプ場で、徒歩圏内に日帰り温泉、食堂、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、郵便局など利用者が必要とする施設が揃っており島内でも人気のあるキャンプ場のひとつとなっている。なお、2005年よりキャ

ンプ場の利用は有料化され1日1回料金徴収の係員が巡回している。

本調査は開設以来常駐の管理人が不在のため把握されていなかった利用実態をとらえるために実施された。

調査方法

調査期間は夏の観光シーズンの6月1日から8月31日で、2002年から2006年までの5年間実施された。調査時間は18時から翌朝7時までの間の任意の時間に1回キャンプ場内のテント数をカウントした。カウントの対象となるテントは寝泊りをするテントを指し、タープや炊事等で寝泊りには使用しないテントは対象外とした。

結果および考察

1. キャンプ場利用者の来島傾向

月ごとのテント数の変化を図1から図3にまとめた。年ごとの変化は少なく、毎年ほぼ同じ傾向を示した。すなわち、6月前半はテント数は少ないが下旬にかけて徐々に増加した(図1)。7月は一定数以上を維持しながら増減を繰り返している(図2)。8月は15日前後のテント数が最も多く、

これ以降になると極端に減少する(図3)。なお、2005年と2006年について6月と9、10月のテント数を比較したところ、9月のテント数が両年とも上回っていることがわかった。特に2006年9月のテント数は6月の2.9倍であり、前年の同月に比べ2.1倍と増加していた。2004年以前の9、10月の調査がなかったため確かなことは不明であるが、2003年から6月のテント数が大きく減少していることから、夏の混雑の時期を避けてテント利用者が来島する傾向があったものと想像された。

次に、テント数と来島観光客数、利尻山の登山者数との比較を行った(表1)。比較に用いた来島観光客数は利尻町役場産業建設課商工観光係、登山者数は利尻山登山道等維持管理連絡協議会より提供された数値を用いた。前者は6～8月、登山者数は夏山期間中の6～10月の数値を利用した。なお、月別統計がなかった2002年のみ1～12月までの年間登山者数を用いた。

来島観光客数は、利尻(鴛泊港、杵形港)・礼文・稚内を運行する定期航路利用者数、利尻空港発着便(札幌・新千歳の他、チャーター便あり)の利用者数および大型客船などにより来島する観光客数の合計から、離島住民割引の利用者数を引いた数値で算出されている。利尻島への来島方法は航路と空路しかないので、内陸部の観光地に比べると推定された来島観光客数は実際の数値にかなり近い数値と考えられる。

利尻山の登山者数は、2つの登山ルート of 登山口付近に2003年に設置された赤外線カウンターを用いて計測されたものである。同カウンターは登山者と下山者を識別してカウントする機能を有し、この機能によって正確な登山者数が利尻山登山道等維持管理連絡協議会によって毎年算出されている。

最初に年単位で比較するとテント数、来島観光客数、利尻山登山者数ともに2002年から2003年は増加した後、2004年以降は、毎年減少傾向にある(2006年の登山者数のみ前年とほぼ同数であった)。登山者の約9割(環境省北海道地方環境事務所、http://hokkaido.env.go.jp/nature/mat/data/m_1_1/1m_1_26.pdf)が鴛泊コースを利用してい

るため、本キャンプ場の利用者のほとんどは利尻登山を主目的とした滞在とはあまり考えられない。そのため2006年の登山者数の変化が同年のテント数の変化には現れなかったものと思われる。

次に、月単位で比較するとテント数は毎年6、7、8月の順に増加するが、来島観光客数は毎年8、6、7月の順に増えている。これはキャンプ場利用者が家族連れや学生らの休暇が取りやすい夏休みの時期に来島していることが理由と考えられる。一方、観光客の大半は旅行会社が募集する団体ツアーで来島しており、募集時期が利尻島を始めとしてセットで販売される礼文島やサロベツ湿原の植物の見ごろの時期にあわせて設定されているため、休暇が取りやすい時期とは無関係な月の順番で来島観光客数が増加しているものと考えられた。

2. 全国との比較

全国のキャンプ人口は統計が見当たらないため単純比較はできないが、オートキャンプ参加人口は1997年以降減少し続けている(International Family Camping Club, <http://homepage2.nifty.com/ifcc/camper1.pdf>)。「アウトドアブーム」が去ったことや長引く景気低迷が考えられるが、杵形岬公園キャンプ場におけるテント数の減少は、全国的に見られる傾向と同様のことがいえるようだ。

3. 有料化の影響

キャンプ場利用者の多くはアウトドア志向でテントでの生活を楽しみに来島する者も多いはずだが、利尻島では観光時期の割高な宿泊料金やもともと少ない宿の予約が取り難いという理由から無料のキャンプ場を利用するという者も少なからずいるものと想像される。いつでも無料で泊まることができるキャンプ場はそういった人々にとっても非常に魅力ある施設であろう。しかし、キャンプ場の維持などで設置者にとっては経費のかかる施設であるため、近年の傾向としては無料であったキャンプ場が有料となる傾向が強い。このことは、これまで無料で利用してきた者にとってその利用を躊躇する大きな要因になると考えられる。本キャンプ場は2005年よ

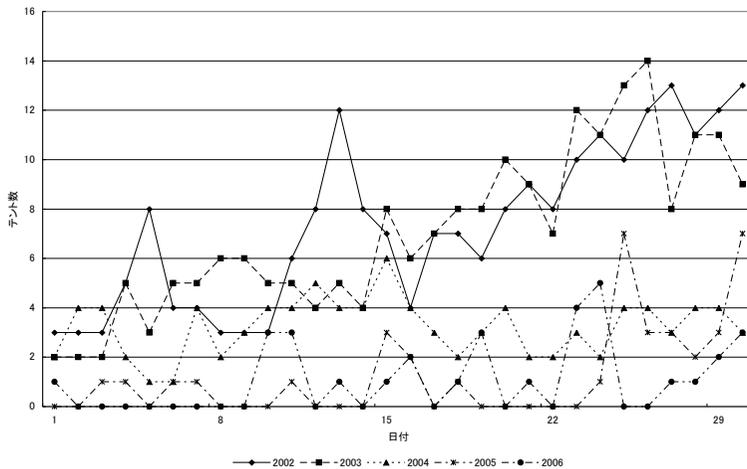


図1. 6月のテント数の変化 (2002～2006年).

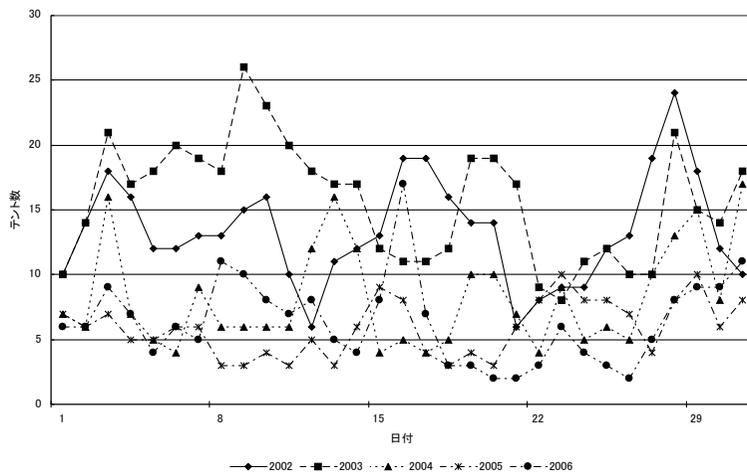


図2. 7月のテント数の変化 (2002～2006年).

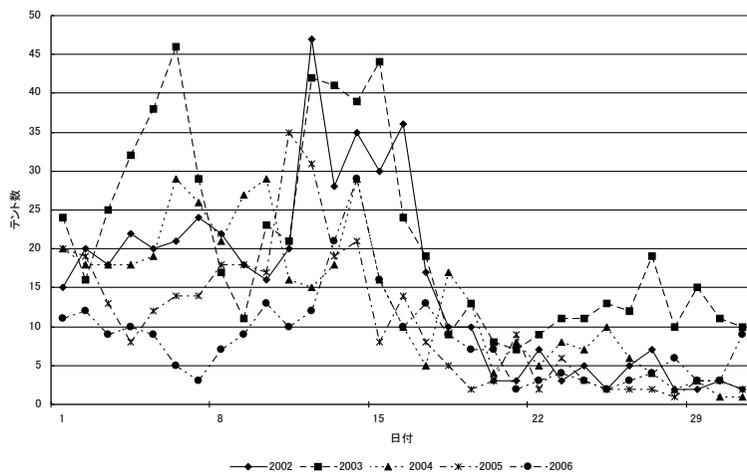


図3. 8月のテント数の変化 (2002～2006年).

表1. 年, 月別テント数, 来島観光客数, 利尻山登山者数

	項目	6月	7月	8月	合計	前年同期比	9月	10月
2002年	テント	221	413	473	1107	-	-	-
	観光	60.5	64.5	48.9	173.9	-	-	-
	登山	-	-	-	12000	-	-	-
2003年	テント	211	487	649	1347	121.6%	-	-
	観光	59.9	76.2	50.2	186.3	107.1%	-	-
	登山	-	-	-	12936	107.8%	-	-
2004年	テント	97	255	423	775	57.5%	-	-
	観光	58.2	66.9	42.2	167.3	89.8%	-	-
	登山	-	-	-	10971	84.8%	-	-
2005年	テント	37	183	334	554	71.4%	44	15
	観光	47.8	60.7	41.2	149.7	89.4%	-	-
	登山	-	-	-	9488	86.4%	-	-
2006年	テント	32	198	264	494	89.1%	93	6
	観光	48.8	53.1	37.0	138.9	92.7%	-	-
	登山	-	-	-	9534	100.4%	-	-

単位: テント数(張り), 来島観光客数(千人), 登山者数(人).

利尻山登山者数の計測は6~10月, ただし2002年は年間登山者数.

りテント一張り300円の利用料を徴収することになったが, その影響がテント数に現れたのかを検証した.

無料であった2004年と有料となった2005年と比較すると著しい変化が見られないことから有料化がキャンプ場利用者の減少に直接影響しているとは考えにくい. しかし, 毎年2~3人いた1ヶ月以上の長期利用者は2006年にはなかったことや, 「島内で無料のキャンプ場はないのか」といった問合せや, 料金徴収時に別の無料のキャンプ場に移動するそぶりなどがあつたことも料金徴収の係員より筆者は聞き及んでおり, 有料化の影響がテント数に現れないまでも皆無であったとは言いきれない.

また, 近年増加傾向に感じられた駐車場での車中泊は, 2006年より一台300円の有料化に伴い変化が出てきているように筆者には感じられた. テントと違い移動が容易なためか, 係員が料金徴収の声をかけると車を出すことが何度か目撃されており, 無料でトイレがある杓形港や道道沿いの無料駐車場に分散しているように感じる.

謝辞

来島観光客数等の統計資料や有料化の経緯など本稿へ情報提供いただいた利尻町産業建設課商工観光係, 利尻富士町産業建設課商工観光係, 利尻山登山道等維持管理連絡協議会に感謝申し上げます. テント数のカウントに協力いただいた, 小杉和樹氏, 清水ゆかり氏, 鈴木順子氏, 宮本敬之助氏, 村上加奈子氏にも感謝申し上げます. また, 利尻研究への投稿の機会を与えていただいた利尻町立博物館の佐藤雅彦氏には, 本稿の取りまとめに多大な助言をいただき, この場を借りて深く感謝申し上げます.

参考文献

梅沢 俊, 2001. アルペンガイド北海道の山. 山と溪谷社. 東京. 335 pp.

附録1. 毎日のテント数(単位:張り).

日付	2002	2003	2004	2005	2006	日付	2002	2003	2004	2005	2006	日付	2002	2003	2004	2005	2006
6月1日	3	2	2	0	1	7月1日	10	10	7	7	6	8月1日	15	24	20	20	11
6月2日	3	2	4	0	0	7月2日	14	14	6	6	6	8月2日	20	16	18	19	12
6月3日	3	2	4	1	0	7月3日	18	21	16	7	9	8月3日	18	25	18	13	9
6月4日	5	5	2	1	0	7月4日	16	17	7	5	7	8月4日	22	32	18	8	10
6月5日	8	3	1	0	0	7月5日	12	18	5	5	4	8月5日	20	38	19	12	9
6月6日	4	5	1	1	0	7月6日	12	20	4	6	6	8月6日	21	46	29	14	5
6月7日	4	5	4	1	0	7月7日	13	19	9	6	5	8月7日	24	29	26	14	3
6月8日	3	6	2	0	0	7月8日	13	18	6	3	11	8月8日	22	17	21	18	7
6月9日	3	6	3	0	0	7月9日	15	26	6	3	10	8月9日	18	11	27	18	9
6月10日	3	5	4	0	3	7月10日	16	23	6	4	8	8月10日	16	23	29	17	13
6月11日	6	5	4	1	3	7月11日	10	20	6	3	7	8月11日	20	21	16	35	10
6月12日	8	4	5	0	0	7月12日	6	18	12	5	8	8月12日	47	42	15	31	12
6月13日	12	5	4	0	1	7月13日	11	17	16	3	5	8月13日	28	41	18	19	21
6月14日	8	4	4	0	0	7月14日	12	17	12	6	4	8月14日	35	39	29	21	29
6月15日	7	8	6	3	1	7月15日	13	12	4	9	8	8月15日	30	44	16	8	16
6月16日	4	6	4	2	2	7月16日	19	11	5	8	17	8月16日	36	24	10	14	10
6月17日	7	7	3	0	0	7月17日	19	11	4	4	7	8月17日	17	19	5	8	13
6月18日	7	8	2	1	1	7月18日	16	12	5	3	3	8月18日	10	9	17	5	9
6月19日	6	8	3	0	3	7月19日	14	19	10	4	3	8月19日	10	13	13	2	7
6月20日	8	10	4	0	0	7月20日	14	19	10	3	2	8月20日	3	8	4	3	7
6月21日	9	9	2	0	1	7月21日	6	17	7	6	2	8月21日	3	7	8	9	2
6月22日	8	7	2	0	0	7月22日	8	9	4	8	3	8月22日	7	9	5	2	3
6月23日	10	12	3	0	4	7月23日	9	8	9	10	6	8月23日	3	11	8	6	4
6月24日	11	11	2	1	5	7月24日	9	11	5	8	4	8月24日	5	11	7	3	3
6月25日	10	13	4	7	0	7月25日	12	12	6	8	3	8月25日	2	13	10	2	2
6月26日	12	14	4	3	0	7月26日	13	10	5	7	2	8月26日	5	12	6	2	3
6月27日	13	8	3	3	1	7月27日	19	10	10	4	5	8月27日	7	19	4	2	4
6月28日	11	11	4	2	1	7月28日	24	21	13	8	8	8月28日	2	10	2	1	6
6月29日	12	11	4	3	2	7月29日	18	15	15	10	9	8月29日	2	15	3	3	3
6月30日	13	9	3	7	3	7月30日	12	14	8	6	9	8月30日	3	11	1	3	3
						7月31日	10	18	17	8	11	8月31日	2	10	1	2	9
合計	221	211	97	37	32	合計	413	487	255	183	198	合計	473	649	423	334	264

附録2. 島内のキャンプ場利用料の変化.

名称	2005年	2006年
杵形岬公園キャンプ場	テント一張り 300円	テント一張り, 車中泊一台各 300円
利尻町森林公園キャンプ場	テント一張り 300円	テント一張り, 車中泊一台各 300円
利尻北麓野営場	テント一張り, 車中泊一台 300円, 二人目以降一人 100円	テント一人, 車中泊一人各 300円
利尻島ファミリーキャンプ場ゆへに	入場料一人 500円	入場料一人 500円
沼浦キャンプ場	無料	無料

附録3. 車中泊の利用者数(単位:台).

	2006年
5月	1
6月	23
7月	35
8月	12
9月	14
10月	0
合計	85